

議 事 録

会 議 名 (審議会等名)	「(仮称)川西久代南こども園の整備・運営に係る対話型市場調査(サウンディング)結果とそれをふまえた市の方針」に関する説明会
事 務 局 (担 当 課)	こども未来部こども政策課
開 催 日 時	令和8年5月29日(金) 18:00~20:00
開 催 場 所	久代会館 2階集会室
事 務 局	こども未来部長 岡本 敬子 こども未来部副部長 増田 善則 こども未来部こども政策課長 野田 忠生 教育推進部教育保育課長補佐 小林 文恵 その他こども政策課職員2名
参 加 人 数	39人
会 議 次 第	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料に基づき説明 ・質疑応答

(市)

それではただいまより「(仮称)川西久代南こども園の整備・運営に係る対話型市場調査(サウンディング)結果とそれをふまえた市の方針」に関する説明会を開催いたします。

私は本日、司会進行を務めます川西市こども未来部こども政策課長の野田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

初めに、お配りしました資料について確認させていただきます。本日の資料は1枚もので、右上に今日の日付と「久代地域説明会資料」と書かれたものです。お手元のない方いらっしゃいますでしょうか。

本日の説明会は19時までを予定しています。途中でお手洗い等のご自由にご利用ください。また、もし気分が悪くなられた方がいらっしゃいましたら、遠慮なく近くの職員にお申し出ください。途中で退席いただいても結構です。

当会場内の録音・撮影はご遠慮いただきますようお願いいたします。なお、事務局は議事録調整のため、会議の内容を録音いたしますのでご了承ください。皆様のご発言につきましては、ホームページ等で公開を予定しています。その際には個人情報に配慮し、誰がどのような発言をしたか分からない形で公表する予定です。

続きまして、本日の市の出席者をご紹介します。

(こども未来部部長、こども未来部副部長、教育推進部教育保育課長補佐)

(市)

それでは早速ですが、お配りした資料についてこども未来部部長よりご説明いたします。

(市)

それでは私のほうから、対話型市場調査(サウンディング)の結果と、それをふまえた市の方針についてご説明をさせていただきます。

久代幼稚園と南保育所の一体化・民間移管につきましては、これまでも説明会やタウンミーティングを重ねて、保護者や地域の皆様から多くの意見を伺い、対話を続けてまいりました。市といたしましては、入所保留児の一刻も早い解消に加えまして、少人数化が進む久代幼稚園の教育・保育環境を速やかに改善することが最優先の課題であると考えて、令和10年4月の開設が可能な市営久代団地跡地が最もふさわしい場所であると判断しておりました。

しかしながら、住民の皆様からの現在地での建て替えを望む切実な声を受けまして、改めて民間法人の意見や提案を確認するサウンディング調査を実施いたしました。サウンディング調査は3月から4月にかけて行いました。サウンディング調査には7つの民間法人から参加がございました。

お配りしております資料に記載のとおり、民間法人との対話では、「令和10年4月の開設をめざす場合、市営久代団地跡地での整備以外に方法がない」との意見が大半でございました。他方で、川西南保育所の運営を継続しながら工事を進めることに対しては、騒音対策など一定の制約はあるものの、現地建て替えの経験を有する法人が存在することも分かりました。また、昨今の物価高騰や資材不足の影響から、通常より長い工期が必要との意見が多数ございました。

サウンディング結果をふまえた市の方針については資料の2に記載しているとおりですが、サウンディング調査の結果をふまえた総合的な判断として、昨今の社会情勢下で令和10年度の開設を進めることは、4月の開園に間に合わないリスクが極めて高いと結論づけました。したがって、令和10年度における久代幼

稚園と川西南保育所の一体化による新施設の開設は見送ることといたします。令和10年度開設を見送ることにより、開設時期に猶予が生まれたことから、開設場所については、住民の皆様のご意見を最大限に汲み取り、久代幼稚園敷地での建て替えを第1候補として、民間法人の募集に向けて調整を進めてまいります。

なお、民間移管につきましては、新施設の開設と円滑な民間への移行を確実にを行うため、令和10年度に向けて取組みたいと考えております。民間移管は大きな改革を伴う取組です。保護者の皆様からは、民間移管への不安の声も寄せられています。保護者の皆様の不安を解消するために、保育士や指導主事など現場の職員を中心としたチームで検討を進めてまいります。その内容を公募条件に反映させるなど、児童と保護者の皆様が安心できるよう、お子様と保護者に寄り添った取組を徹底してまいります。

この後のスケジュールですが、今回、大きな方針転換をいたしましたので、市の方針の実現可能性について、応募してくれる法人がいるのかなどを確認する必要があります。そのために、サウンディング調査に参加された7つの民間法人に対し、追加のサウンディングを実施いたします。追加サウンディングの結果もふまえ、詳細については9月までに明らかにしてまいります。地域の皆様には引き続き丁寧にご説明を重ね、住民・保護者の皆様のご意見をお聞きしながら進めてまいり所存でございますので、どうぞよろしく願いいたします。簡単ではございますが、説明は以上でございます。

(市)

ただいまの説明についてご質問等のある方は、職員がマイクをお持ちしますので、挙手をお願いいたします。

(市民)

令和10年度を目途に民間に向けて準備を進めていくということなんですが、質問です。今の保育所の中に令和10年度、民間さんが入られて経営していくという認識で合っていますか。

(市)

はい。具体的にどのような手法で運営していただくかというのは、これからの追加サウンディングもふまえて決めたいと思うのですが、おっしゃるとおり、民間の法人の方が川西南保育所に入っていただいて、そこで運営をしていただくということを今考えております。

(市民)

運営というのは、民間の方針で運営をするのか、公立の方針で運営をするのか、令和10年、どちらで運営されるんですか。民間さんに任せる形なのか。

(市)

そのあたりの方針は、これから詰めていきたいと思うのですが、当然、今、市立の保育所で運営していますので、その内容をしっかりと引き継いでいただけるような形で、どういうやり方がいいのかを、もう少しお時間をいただいて検討した上で、この8月・9月には、どのように引き継いでいくのかも含めてお示しさせていただきますと考えております。

(市民)

スケジュールの中に「市の方針について」って書かれてるんですけど、方針があるわけですね。その方針

っていうのは、令和10年に移管するっていう方針ですよ。

(市)

そうですね。こちらの資料に書いているのが市の方針ということでご理解いただきたいです。

(市民)

そしたら、サウンディングにかける時に、「令和10年になったら、どこか、保育所に入ってもらって運営してくれるところありませんか」ということでサウンディングをかけるってことですか。

(市)

そうですね。そこもサウンディングの中でお聞きさせていただきます。

(市民)

それは、もう絶対令和10年に移管せなあかん、っていう前提で進んでるから、そういう話になるわけであって、今の社会情勢を考えた時に、すぐには建てられへんから、第1候補地にここに建設してみましようか、ってなってるんでしょう。そしたら、移管の時期も当然ずれるんかなと思ったんですけど、今の話だと移管の時期はそのままで、建設の時期だけ遅らせるってことでされるんですかね。

(市)

はい。そのように考えております。ただ、今回お示しさせていただいた方針で、実際、法人さんのほうでできるのかということは、これから確認しなくてははいけません。追加サウンディングで、法人さんの意見も聞きながら、最終どのような形でできるかを検討して、その結果を8月・9月には改めてご説明できればと考えております。

(市民)

先ほど丁寧な引継ぎどうこうというお話がありましたけど、保護者としては、やっぱり公立で運営してほしいというのがそもそもあります。民間になんでいかなあかんねんっていう。公立がいいから公立に入ってるんで、そこを他の民間さんが来られて、その建屋の中に入られて、民間の方針で経営されるっていうのは、今までの計画、上に上がるっていう計画やったら、「新しいところに行って、さあスタートですよ」という計画でしたよね。ところが今の話やったら、今の建屋の中にだだっ民間さんが入ってきて、引継ぎ方法等考えながら進めていくってことで、やっぱりね、こどもたちの気持ちはどうなるのかって、ちょっと想像してもらいたいんです。ある日突然、全然違う方針の方々が入ってこられて、建屋はね建物やから変わらへんって思うかもやけど、こどもたちの気持ちって一体どこに行くんかなって思うんですね。ある日突然入られて、そしてある日突然「さようなら、次の先生頑張ってるね」とみたいな感じで出て行かれて。こどもは石ころじゃないんで。心もありますし。そういったところをどういうふうにして、この計画を進めてはるのかなって。逆にこどもたちの状況的には不安の材料が増えるんちゃうかなって思うんですけど、その辺どう考えておられますか。

(市)

私たちも、民間移管を進めるにあたって一番大切にしないといけないのは、こどもたちの教育・保育環境

であるという認識は同じです。ただ、民間移管を令和10年度を目途に進めるという市の方針は変わりません。その上で、今回お示ししている久代幼稚園の敷地に新たな施設を建設する方向を考えた時に、まず幼稚園を解体して更地にして、そこに新園舎を建設します。この建設については民間法人さんに建設いただきます。そこで新たに運営していただきます。横にある南保育所については、新設園が建つまでの間、解体して新設するまでおそらく2年程度かかると見込んでいますので、その間は今の南保育所での運営を継続する必要があります。その間、市が引き続き公立として運営するというのではなく、その新設園を建設する間に、民間の先生にも入っていただいて、もちろん今の公立の保育士の先生にも一緒にサポートしていただいて、こどもたちの状況を引継ぎをしながら、隣に立つ新設園が完成した時にはそこへ移行する、というスムーズな引継ぎをしたいと考えています。その具体的なやり方や、それが本当に民間法人さんにとっても引き受けられる条件なのかということは、追加サウンディングでお尋ねしていきたいと考えています。

(市民)

今回初めて参加させていただきます。よろしくお願いします。以前にも説明があったかもしれない、突然入ったの質問で申し訳ないんですけど、このね、公立の先生たちは、民間にまた入られるんですか。公立の先生で、今まで働いてはった方って、どういう形になるのかなと気になりまして。

(市)

まず私の言い方に誤解があったら申し訳ないです。

民間に移管したら、その運営を担う先生として勤務するのは民間の先生です。ただ、こどもたちがいきなり運営形態ががらっと変わってしまうとお子様たちが戸惑うことも懸念されますので、例えばしばらくの間、引継ぎのためにサポートで、公立で今までこどもたちを保育していた先生がしばらくの間支援に入る、といったイメージでお話をさせていただいています。ですので、民間に移管したら、そこで働く先生は民間法人で雇用される保育士の先生になります。

(市民)

つまり、民間に移った場合、そこにいらっしゃる先生方は民間の職員になるということですか。

(市)

そうです。

(市民)

ちょっと私、福祉のほうで、保育園のことよく分からないんですけど、すごく公立の先生は素晴らしいという噂を聞きます。で、民間の先生は若い先生は多いかなっていうのがあって。保育の質とか経験値とかのギャップが起ころへんかなという心配があるんですけど、その点は考えていただけるのかなと思ってます。

(市)

民間の保育施設がみんなが若い先生ばかりであるとか、そういったことはないと考えています。公立と民間で教育・保育の質に優劣はないと考えております。一定の基準、それから保育所保育指針や認定こども園の教育・保育要領に基づく保育がなされていることが前提です。

ただ、おっしゃるように、川西南保育所また、市立の保育所、こども園や幼稚園で非常に素晴らしい教育・

保育をしていただいているというありがたい評価もたくさんいただいています。こうした公立の良いところ、優れた教育・保育は、公立施設だけにとどめるのではなく、民間施設にも広げていく必要があると思っています。公立の質の高い保育を民間へ広げていくという役割を市立の拠点施設が担うという位置付けを進めていきたいと考えています。ですので、市立の役割として、自分の園の保育だけを頑張るのではなく、市全体の施設の質の向上のために力を発揮していくことが公立の施設に求められていることです。そのために、公立の保育士の先生には力を発揮していただきたいとそのような方向で市は方針をもっています。

(市民)

無知で申し訳ないのですが、今回、公立の幼稚園がなくなるっていう話やと思ってるんですけど、今いらっしゃる先生方は全員職を失うというわけではないということですよね。

(市)

はい。基本的には職を失うということではなく、他の公立施設などで勤務していただけるように調整していくという考えです。

(市民)

ありがとうございます。そちらのほうから民間の先生たちにも指導する立場になっていくというか、教える立場というか、なんて言いますかね。ごめんなさい、ちょっと違いますかね。ってことですかね。はい。ありがとうございます。

(市民)

引継ぎの間、先生方が公立と民間で入り混じる形になると思うんですけど、保育が市立と民間ではまず方針が違うと思うんですけど、それをどういう塩梅で引継いでいくのかなという。例えば完全に市立の方針をそのまま引継ぐというのは無理だと思うんです。民間さんは民間さんのやり方があるので。違う方針の先生方が現場で一緒にいて、何をどう引継ぐのか、具体的に教えてほしいです。

(市)

まず前提として、今日ご説明している資料の一番最後にも記載しておりますが、市の方針については、追加サウンディングをした後で最終決定をすとお伝えしました。今お伝えしたように、公立の先生もサポートしながら民間の保育を手助けするというのはあくまで仮定の話で、決定したものではありません。現場の保育士の先生の意見、そして追加サウンディングで法人さんの意見をお聞きしながら、これから具体的なところを検討していく段階です。

(市民)

それで、2年足らずの後には、開園をめざすということですか。スケジュールがかなりきちきちな気がするんですけど。

(市)

はい。そのとおりです。令和8年8月・9月に方針をお示しさせていただいて、これから先は書いておりませんが、残る1年半くらいですかね。令和10年4月だとしたら、今年度の下半期とそれから来年1年間

のその期間で、例えばですけど運営してもらえる事業者を速やかに募集・選定を行い、令和10年4月に間に合うように、そのあたりも含めて実現可能かということをしっかり検討して、9月にはお示しできたらなと思っております。

(市民)

ちなみに、令和10年に必ず民間移管をするという、令和10年にこだわる理由って何かあるのでしょうか。建設が遅れるのであれば、新しい園が開所した時に民間さんが同時に入ったらいいなと思うんですけど、今の建物でもどうしても令和10年に民間さんに入ってもらいたい理由があるのでしょうか。

(市)

先ほどもお話しました、市全体の、公立も私立も含めた質を高める取組を、市立の拠点施設としてのこども園が担っていくということも方針として明確にしています。その取組を進めるためには、拠点施設に、例えば乳幼児教育・保育アドバイザーといった新たな先生を配置する必要があります。また運営費についても、公立と私立を比べて、公立のほうが経費が高くなっているところもございます。そういった財源面から見ても、民営化というのは今後進めなくていけないと判断しております。ですから令和10年には保育については民間さんに委ね、生み出された財源は拠点施設や市全体の質向上の取組に充てていきたいという思いで、前回お示しさせていただいた方針から変更なく進めていきます。

(市民)

今、新しく4月に入った1歳児クラスも定員いっぱい入っておられると思うんですけど、皆さん公立に入りたくて公立に入っている方がほとんどで、1歳児・2歳児・3歳児クラスが、公立で希望して入ってきたにもかかわらず、民間さんになってしまうということですよ。在園中に。

(市民)

私の体験から申し上げますと、私は小さい頃、幼稚園や保育所なかったんやけど、今こどもさん相手に田植えとか稲刈りとかさせてるんですけど、ものすごい大人気なんですけど。公立でさつまいも今日植えてましたけど、公立やからやったんで、私学でもできるんですか。体験っていうのはすごい大事なんですよ。公立やったらそういう体験が小さい時からできると思うんやけど、私は田植えをやっているところはおむつをしている子から来よるぐらいで、昨年だったんですけど、田植えとか十数年やってるんですけど、川西の女の子2人が私のところに来まして、「三田にお嫁にいいやろか。」言ったんですよ。それくらい体験っていうのは大きくなったら感じることもある。そういうものが私立で体験できるのかなって。

(市)

今、お話いただいたようなことは、お子様たちに経験してもらおう上で非常に重要なことだと思います。先ほど市の保育方針が民間の保育に引継がれるのかというご質問もありましたけれども、市立の保育所が行っている行事や、地域の皆さんとの交流活動は非常に活発にさせていただいております。そういったことを引継いで実施していただけるのかというところは、例えば、公募条件に条件として織り込むことも考えられます。民間園も独自の取組をされているところもありますので、両者がいい提案をしながら、より良い保育を作っていけたらいいのかなと思っています。

(市民)

私もそんな小さい時のこと、保育所も何もなかった時代ですから、小さい時の経験が今になってもずっと活かされてるんですよ。できれば、小さい時にそういうことを体験行けるような幼稚園、保育所をつくっていったらなと思います。

(市民)

はじめに、市営の久代団地跡地が候補だったときいているんですけど、今回追加サウンディングを実施されて、その結果、やっぱりあちらのほうが適しているみたいな結論に戻ることはあり得るのでしょうか。

(市)

追加サウンディングは、資料でお示ししているとおり、サウンディング結果をふまえた市の方針、これに基づいて追加サウンディングを行うものですので、整備場所は久代幼稚園敷地を第一候補地とする。これを前提のもとで追加サウンディングを行います。

(市民)

その後のことについては、それ次第ということ。ありがとうございます。

(市民)

新施設が建った後って、保育園のほうはどうなるのかなというところと、今も結構、朝、駐車場は激混みなんですけど、駐車場のスペースとかどうなるのかな。

(市)

久代幼稚園を解体して、そこに新しい新園が建った場合なんですけど、保育所の敷地は使う予定はないので、そののところはどうなるのか決まっておられません。未定ということになります。

駐車場については、今、南保育所も多くないので、もう少し必要だなと考えています。駐車場を設けることにつきましても、追加サウンディングでそれを含めて確認して検討していきたいなと考えております。駐車場の台数はしっかりと確保していかないといけないと考えております。

(市民)

坂の上から来られる方もいらっしゃると思うので、駐車場使っていらっしゃる人もいますし、雨の日も本当に送り迎え大変なので、車でいらっしゃる方もたくさんいるので検討していただけたらなと思います。道がすごい狭いので、すごい混むんですよ。その辺も多分、これから検討されるかなと思うんですけど、よろしく願いいたします。

(市民)

南保育所ですごく豊かな教育をしていただけて、感謝しています。その中で感じることは、こどもの時代というのは、例えば人生 100 年の中で、保育所入れる時間は 5 年しかないんですけど、すごく人格形成に影響するなと思ってます。すごくおおらかに育てていただいて、すごくおおらかに育て、その中で、今遅れて入ってきたんですけど、少し気になることがあって教えていただきたいです。

令和 10 年 4 月の開設ということで、民営化の理由は財源のためということで。もちろん市のことを考え

ると大事なことだと思うんですけど、保護者の立場として安くなるからと言われると不安が残るところがあると思います。同じ時間預けて、同じように先生が見てくださって、環境も整えて、となれば同じような費用がかかるのではと思うのですが、そこを安くされるのは民間の方の工夫なのかもしれないですけども、市のほうでどうしてもできないのか、とか、本当は民間のほうが見れていないところがあるかもしれないのにそこに気づけていないところはないかとか、安いという理由だけでは心配が残るなど、その理由が分かるのであれば教えていただきたいです。

(市)

民間さんのほうが安いというわけではなく、平均して、試算をして、公立の運営費と民間の運営費というのを平均価格として試算をしています。公立の運営費は民間の約1.6倍かかるという試算結果になっています。

それもありますし、先ほどもお伝えしたとおり、公立の役割としては、保育にあたるだけではなく、市全体のことに取組まないといけない。この役割を今後は担っていく必要があると、それにも財源を充てていけないといけない。それは市内の施設の8割が民間ですけども、公立と民間が力を合わせて、より良い保育をめざしていくためには急がれる話だと思っています。その辺がなかなかご理解いただけるように説明ができなくて申し訳ないですが、私たちとしては決してお金だけではなくて、子どもたちの長きに渡っての保育を考えた時に、今すべきことは何かというところで、市全体の質を一緒に高めていく、そこに力を注いでいきたいという思いです。

(市民)

今の話で言えば、長い目で見た時に急がないといけないというところで、急いだ結果、削られる人たちがさっき話に出てきた1歳・2歳・3歳児さんが公立を希望して入ったのに、公立の保育を受けられないというところで、泣く泣く民間に行かなければならないということになるんですね。川西市全体を考えた時に急がないといけないというのは、川西市の方ですから、そうおっしゃると思うんですけど、やっぱり聞かされずに、特に今3歳児さんの人はある日突然紙が送られてきて、こういった丁寧な説明、こういう場があれば丁寧やと思うんです。そんな説明もなく、ある日突然紙が送られてきて、「あなたたち白組さん、5歳児になったら民間ですよ」というやり方をされたわけですよ。一番最初に。本当に子どもたちのことを考えるって言うのであれば、その時にもう少し丁寧な説明も必要やったと思うし、こういうきちんとした場を設けて、地域の説明であったりとか、そういったところでもっと丁寧にしていく必要が、急ぐのであれば、あったんやと思うんです。

でも時期を変えずにただひたすら急ぎ続けて、どんどんどんどん計画を変えて、変わったんですよ。上や言ったら下が変わって、下になるけどもそこに民間入れて、というような期間を変えないから結局ぎゅーとそこに詰め込まれて、そのぎゅーにいる子どもたちや保護者は不安と心配と、もうどないなってんねん川西というところでものすごいモヤモヤしているわけなんですよ。

やっぱりその辺の先ほども、入ってから考えると、今の保育士さんの現状を聞きながら、どういうふうに引継ぎが。とか具体的な話が出てこなくて、なんか安心できるような「こうしますので」「ああしますので」というところもまだ決まってないので、まだ決まってないので、今後考えていきますという話だとしたら余計保護者は不安、不安、不安、不安、不安しかないんですよ。結局この説明会に来て、一向に安心できない。いつなったらちゃんとやってくれんねんって、でも期間がないからまた詰め込まれんねんって。そうなった時に、さっきの話の続きですけど、やっぱり子どもの心どないしてくれんねんっていう思いなんで

すね。川西の未来を考えたならここはもう泣く泣くっておっしゃいますけど、その3年間なり、この揺れているこの時期にいる子どもたちの未来は保障しておられないんですか、というところすごいい気になります。

特に3歳児さんなんかはさっきも言ったように、ある日突然紙が送られてくるというところで、絶対納得されてないんです。もう様々なご意見を、私保護者代表として聞かせてもらうんですけど、その辺丁寧にされなかったっていうしっぺ返しが出てくると思うんです。この令和10年を目途にっていうところをもう1回見直せないかって切に願います。やっぱり聞いて入ってくるのと聞かずに入ってきてる、その差は大きいと思いますし、公立でやりたいって言ってわざわざ遠くからここを選んで、やっと入れる言うて来てはる人もいるっていうのを知っているんで、そういう人たちの声を市として無視せんといてほしいなと思います。いくら計画やからって言っても急に降って湧いたような計画を打ち出されても、こっちは納得できないっていうのでいつまで経っても変わらないので、そこはしっかり検討してもらって。ちゃんとしていうか、保護者たちが納得いくように進めてほしいなって。

その納得ってどこやねんってなったら、やっぱり延期しかないかなって私の中では思ってた、延期に向けて私からの要望ですけど、この場を借りてお願いしたいです。

あと保育士さんに相談してっていう話かもしれないですけど、どこまで進んでるのかなって。実際、この話が保育士に降りていって、どういうふうな意見を汲み取ってはるのかなって。果たしてこの短い期間で保育士の意見を汲み取るまでいけていないと想像できるんですけど、やっぱり保育士さんの現場の声が一番大きいと思うので、もっと現場の保育士さんの意見なり声なりを聞き取ってもらいつつ、今後の子どもたちが安心して保育を受けていけるような環境づくりに努めてほしいなと思います。

(市民)

説明を聞いてて、こどものことを一番にっておっしゃってたんですけど、なんかもうお金のことしか考えてないのかなって話を聞いて思ってた。さっきのお金のことだけやなーって。令和10年に民間のところ今の先生が入ってくださってサポートしてくれるって言ってたけど、子どもによって安心できる先生は違うと思うんですよね。

そういうのってどういう先生を何人ぐらいか具体的に教えてほしいです。

(市)

ご意見いただいた保育士の現場の先生の声을大事にしてほしいという声と、保護者の皆様の不安の解消に精一杯努めて、そこはしっかりとやっていきたいと思えます。具体的に何人がいつからどんな形でっていうことは、今お答えすることはできませんけれども、そこについては、繰り返しになりますけれども、現場の先生の声も、それから追加サウンディングで民間法人さんにどのような引継ぎがスムーズにできるのかというあたりも聞きながら、子どもにとって最善の方法をしっかりと考えていきたいと思っております。

こういった内容については、今回初めて方針転換したところです。整備場所の変更もそれから開設を令和10年度から遅らせるということも今回決まったばかりなので、まず最初にこの方針転換について皆様には何よりも早くお伝えしないとというところで、この場を設けさせていただいているので、今日いただいた、こどものことをしっかり考えてほしいとか、令和6年4月に何も知らないで入所した保護者の不安をしっかりと解消してほしいといったお声については、私たちが責任を持って考えていきたいと思っております。

(市民)

しっかりと対処していくっていうのが、しっかりっていうのがまだ見えてきていないんですけど、今の園

舎のまんまやったら、何の問題もなくって、解消されているんですね。

で、子どもたちのことを一番っておっしゃってくださっているのは嬉しいんですけど、やっぱり安心する先生に預けて安心して働ける親の気持ちも考えてほしいし、だからこの説明会もこの時間があつたら、子どもたちももっと遊べるし、もったいないなって。ここに来てももったいないし、何も変わらないです。

しっかり寄り添って対策してしてくれるんやろうって。何も納得がいかない。そのまま残してくれたら、この時間も無駄じゃないですし、子どもの笑顔も見れるしっていうのをサウンディング追加で単に済ますんじゃなくて、納得できるようにしてほしい。本当に憤りしか感じていないです。納得いく答えていうか、しっかりとって言うんやったらしっかりとしてほしいです。

(市)

12月のタウンミーティングで市長から直接お話を申し上げた時にも、市として変えられる方針と変えられない方針があると申し上げました。今日の資料2の「サウンディング結果をふまえた市の方針」。ここの部分については、4点目、「市立川西南保育所・久代幼稚園の運営については、令和10年度を目途に民間移管に向けて準備を進める」。これについて、今、私たちからこれを検討しますとか変える余地がありますということをお答えすることはできません。

ただ、保護者の皆様からこれまでも、例えば、支援が必要な子どもをきっちりと受け入れてくれるのかとか、保育料以外の費用はどうなるのかとか、今の南保育所の保育のいいところはしっかりと引継がれるのかとか、いろいろな具体的な意見をいただいております。そういったことについては、できるだけ皆様の声が新たな園の運営にも活かされるように考えていきたいという、その部分を考えていきたいということです。

(市民)

なぜ具体的なことが答えられないのかっていうのはやっぱり民間に移行するからですよ。民間さんがどういう保育方針でどういう経営をしていくかということに、川西市は口出せないとまでは言わないですけど、お願いして、お母さんたちの不安を解消するためにこれだけは守ってくださいねってお願いするかもしれないけど、強制できないっていうか、今この方針に決めますっていうのを言えないのは、やっぱり民間に移行するからやと思うんです。じゃないと、これからただ単に、川西市の子ども園に幼保一体化しますよっていう話やったら、今ここでなんぼでも具体的な話ができるはずやと思うんです。

今お約束しますよという話もできるはずですよ。それができないのはやっぱり民間に移行するからだ、私は思うんですけど、お母さんたちや地域の子どもたちの不安を解消するには、やっぱり公立で残していくってことしかないん違うかって思うんですね。

お金はね、そりゃかかると思いますよ。なんでね、民間さんの方が安くできるかって言ったらね、若い保育士さんが多いんですよ。人件費も安いんです。絶対そう。多い。

これからね、子どもが少なくなっていくってね、でも物価は上がっていくってね、もし今は最初の時の公募条件はいろいろ付けてね、いい保育、民間さんしてくれてるわ。いい保育やってなってもね、先々のことを考えた時にね、川西市の先を考えるっていうんだつたらね、やっぱり公立で残していかなとね、もし民間さんの経営さんが代替わりしたりとかしてね、少子化で経営が悪化した時とかにね、やっぱり辞めますわって言われても止めれますか。止めれないよね。民間のことですからね。止めれないですよ。

実際ね、私のいとこが大阪市内で保育所に子どもを預けているんですけど、民間にね。延長保育がなくなりそうっていう話なんですよ。大阪市内ですよ。

保育士が確保できない。経営難で確保できない。延長保育も。でもそういうことが実際に起きて来てるん

です。

やっぱり川西市として子どもたちの健やかな成長をつつ、こどもの笑顔からって言うんやったらね、こどもの保育や教育に市として責任を持ってずっと続けてほしいって思う。それにはやっぱり公立として残していくで、公立でいい保育して、公立が人気やったらね、やっぱり私立さんも考えはると思うんですよね。それがね、公立のポジション、役割じゃないですか。せつかくこれだけいい保育をみんな残ってほしいって言うてるのにね、公立園じゃなくて民間に移行していくには本当、私はそこだけが本当に、うん。

こども園になる、一体化するっていうのはもうしょうがないかなと思うんです。でもなんでそこで民間にしていかなあかんのか、本当にもう全く、何回話を聞いても納得がいかない。

お金の話なんかなくてさっきのお母さんも言ってましたけど、こどもにお金をかけないってもう減びていくしかないですよ。未来がないですよ。こどもにお金をかけてほしい。

(市)

市としては、まちづくり、市政はこども・教育からということで、市長がスローガンを打ち出しております。こども・教育、そこに一定のお金をかけていくということは明らかにメッセージを出しています。その方針で、こども・教育のための財源も確保して、いろいろな取組しています。ですから、こども・教育にお金をかけないのではなくて、むしろ逆です。

こども・教育を市政の大事な点として最重要課題として捉えている。これは間違いないです。今、幼児教育の現状を見た時に入所保留児が出ている。待機児童ではないけれども入りたい保育園に入れなくてお待ちいただいているお子様がたくさんいる中で、まだ量を拡大していかななくてはならない。

合わせて、今おっしゃっていただいたように、市立で頑張ってる保育をしているように民間さんにも頑張ってもらって、一緒に切磋琢磨していい保育をしていかないといけない。その質を高めるための取組も合わせてやっていかないといけない。この量の拡大と質の向上、これを両立させていくためにも、民間さんにお願ひできる部分、民間さんに委ねられる部分は、民間さんにお願ひして、市立として市立でしかできない役割を担い、

(市民)

その話は納得できないです。いつも何度か同じ説明いただいておりますけれども、それで本当に川西市としてこどものね教育保育に責任を持っているって本当に言えるのかなっていつも本当に。民間さんとね、それは今、民間さんが来てもらったらいいいじゃないですか。でも来てもらってもいいけど、それで公立をなくすというのは、何回どういふうな理由を付け、話をされようと納得がいかないです。私は納得がいけないです。

(市民)

質問なんですけど、今の公立の先生を民間に雇ってもらってできないんですか。今の保育方針が残ってはる今の先生を民間で雇ってもらったら、民間の方にも伝わりやすい。

(市)

市立の公立の保育士ですので、身分もありますし、公立の施設へ引き続き行かれるというのが基本的になります。

(市民)

私の意見は、公立だからとか、民間だからとかっていうのは単純に保育はいいとは言えないというのは確実にそうなんですけど、保育所保育指針があっても保育って100通りあって、保育園によって本当にいろいろだし、川西南保育所がやっている主体的な保育と、先ほど言ってた体験を大事にしている保育と一斉にこどもたちが何かをするっていう保育じゃ全然違うと思うんですよ。

市は何を、どの保育を求めているのかなって、ていうのが全然分からなくて、市としてどんなこども像をめざしているのかな、どんな保育を大切にしたいのかなっていうのが全然伝わってこないというか。って聞いていたら現場の先生に相談して、あっ、結局丸投げなんや。何がいい保育なのか答えられるのかなって。

川西南保育所の質の高い保育っていうのがどういう保育なのか、答えられるのかなってという疑問がまずあるのと、私は民間園で働いているので、園長のトップダウン型です。だいたい。これ脅しじゃなくて、事実です。これは。だから、外部アドバイザーがちょっと入ったからって、もう絶対変わりません。

もう保護者の人を怖がらせるつもりはないんですけど、もう本当に変わらないです。

何年もかけて、まあよっぽど長がしっかりした使命を持って、すごい力を持っている人であれば、保育は変わるかもしれないんですけど、絶対その場で終わりなので。それはもう、脅しじゃなくて。なので、組織でやっぱり変わっていかないといけないので、私立と公立がそれぞれやっぱ研修し合っ、いいところ、お互いと、言うてるのであれば残して、研修していってお互いのいいところを学び合う。で、川西の久代を残すべきやとは思ってます。で、これは、私が他のいろんな全国で民営化になっているじゃないですか。京都とか、どこか、いろんなところで民営化になって、実際聞いた話なんですけど、市とかは、あんまり園に口出しできない現状がある。これは事実あって、命を落とすかもしれない保育現場もほったらかしにされています。これはもう事実です。これは私、研修の先生から聞いたので。どれくらい市は保育園につっこめるのか。新しい民間の園長、先生にどれくらいつっこめるのかなって。本当に命に関わってくる問題かなと思うので、絶対に変わらないです。アドバイザーを置いても。絶対に。100%。ほんまに。全然変わんないですよ。

現場に丸投げしないということと、継続的に学び合える環境を作るということをお願いしたいので、川西南保育所を残してほしいです。

(市民)

先ほど切磋琢磨しておっしゃってたので、それでしたらやはりこの地域に公立はあるべきやと思うんです。ないのにどうやって切磋琢磨するのかなというのには本当に不思議です。

あと、聞きたいのが、民間のこども園さんが地域の人とどのように関わっていくのか。どの幼稚園もどう関わりを持とうとしてはりますか。それはすごく私には見えていないので、いくら今度新しく民間でこども園をつくる時に、今まで通り地域の人たちと関わってくださいとおっしゃっても、園長先生が最初は関わってくださいと言われたから関わろうかなと思っても、やっぱりちょっと入ってこられたら嫌やなと思う先生から、多分1年も経たないうちに関わらなくなると思いますし、今、この近くの民間のこども園さんはそのように関わっているのか、実際あったら教えていただきたい。

(市)

先ほどの質問ですが、市内の民間こども園が、地域の方にいろいろ尋ねながら保育を展開していけるように園長として意識されているということは、開園の時からずっと聞いているところです。

また他の園でも、それこそ「芋堀りとかを自分たちの手でやりたいんだけど、近くで畑を貸してくれるところはないのか」というようなお尋ねもあり、こちらがコミュニティの場所をお伝えし、コミュニティ

の会議に参加して、実際にその地域の方と一緒に話をしながら、園の経営の中に地域の方の協力がもらえるような、そういった取組をされている民間園も実際はあります。

なので、地域を意識した保育展開をできるようにというのはこちらから示していける部分かなと思っています。

また、先ほどのお話の中にもありましたお互いに切磋琢磨しながら、保育を進めて質の向上をめざしていけるような関係づくりのことをおっしゃっていましたが、実際、施設長の方々は川西市がめざす、子ども主体の教育保育について、「どういうことが主体なのか」ということをグループ協議しながら進めています。

その中でも、市立の園所長が中心になって、こういうことかなあ、ああいうことかなあと正解は出てこないですが、自分の思う主体はどういうことかなというのを、施設長がまず考える機会を持っています。

今、取組もうと思っているのが、施設長の先生方だけでなく、実際に保育をされている先生方がまず、どういう保育をしていくのがいいのか、自分の保育はどうなのかというのを立ち返れるようなそういう研修の場が必要だというふうに考えております。令和6年度頃から民間園には、公立の研修会にお誘いをしたり、公開保育をする案内を出して一緒に学びませんかということで、アプローチさせていただいております。その中で、たくさんの園ではないですが、少しずつ興味を持って参加してくれる園も増えてきております。

先日も、企業型の園から、自分のところも質の向上をめざしてやっていきたいと思っているけれども、研修機会がなかなかないのでどうしたものかと相談があり、指導主事が訪問しました。

そちらの保育園に関しては、公立の研修会に時々足を運んでくださるところで、実際、園内を見ていたら、これまでは一斉に子どもたちに制作物をさせていたが、公立の保育を見る中で、子どもが自分で選んで自分で決めてやっていくことの大切さというのを先生自身が研修会の中で、公開保育の中で、学びを得て戻ってきた。それを基にみんなで話し合いをし、今、こんなふうに保育を変えてみましたという話もありました。一度に質がぐっと上がっていくというわけではないと思いますが、少しずつそうやって広がっていけばいいなというところで、展開しております。

(市民)

いろいろ教えていただいてありがとうございます。

そういう取組もされてるんやなというところで聞いてたんですけども、今質問された方はおそらく地域との関わりって、民間にできるんですかっていうところで質問されたと思うんです。

実感として、久代地域にある民間園さんと地域の方々の関わりがない、あるいは、少ないところで、関わってもないのに、民間で地域との関わりっていうのをよく言えたなと。どんな関わり方してるか知ってるの、という話だと思うんです。

なんか、芋掘りできる土地貸してくださいっていうコミュニティに繋いだっていう話しか出てこない。

それが果たして認識として、地域と繋がりどういうふうに思ってますかって言うた時に、たった1つ土地を貸してくれるところを探していますしか答えられない人たちに、本当に地域と関わって一緒に子どもを育てていく、子育ての拠点として、ここはちょうど久代地域の真ん中なんです。こうやって地域の方々が声を上げてくださるといのは、1つは歴史があって、久代幼稚園・南保育所っていう子どもと一緒にこの地域を盛り上げてきた、繋がってきた、保護者と繋がってきたっていう歴史があるんですね。そういう歴史を、民間園さんでやりますよって言うてる内容が土地貸してくださいだけじゃ、地域が、それは何か川西市としてそこをすればいいかなというふうに思っているのは、おそらく話を聞いてて思うんですけど、そういうんじゃないんですよね。

公立園っていうのは、やっぱり地域の意見っていうのも聞く、そういう拠点として立場も取ってきている

わけですし、地域行事も積極的に参加するっていうところで、本当に強い繋がりがあると思っています。私は。そこにきてやっぱり移管ってなって、民間になってくるとこういうふうな声も上がってくるし、その辺のことをしっかり分かってもらって、またこれを言ったら、「どんな繋がりがあるんですか教えてください。それを民間さんに投げてみまして、民間さんができるかどうか、検討してまいりたいと思います。」という答えが出てくるんやろうなっていうレベルでしか考えてはらへんのが、私たちはすごい腹が立ってますよね。正直。

地域と繋がっているんだっていうところをあまり甘く見ずに、どのようにすればもっと民間さんにこういうことを言っていきたいと思います。市としては、久代の地域は久代幼稚園、南保育所はこういうふうに地域の方と繋がっているって聞いてますよ。だからこれをぜひ工夫してやっていくので安心してくださっていう説明会やったら安心に変わるんですけど。何も出てこない中での説明会なので、果たしてこの地域のことをよく分かってくれるのかなという思いで不安になります。

あと、話ちょっとそれますけれども、民間さんにできることと、公立でできることをそれぞれいいところがあるから、合わせてっていうところですけど、公立にできることっていうところで、今子育てアップルさんっていうのがあるんですけど、やっぱりあれっていうのは公立ならではというか、公立やったらそういう常駐の保育士を何人か置いて、毎日来てもらってかまへんよっていう場所なんですね。地域の子育て拠点っていわれるだけあって、ここの場所で、ちょうど久代の真ん中で、小さい子どもを持つて保護者、保育所に入れないお母さん、「ちょっと子育てに悩んだな」とか、「ちょっと最近しんどいなあ」っていう時に、いつも空いてて、ふらっと立ち寄れるそんな場所があるというのが、この川西南保育所であり、久代幼稚園なんですね。民間さんじゃ、それできるのかといたらやっぱり難しいんちゃうかなっていう思いもあるし、さっき、第一に子どものことにお金を使っていきます。そういうところにやっぱり使われているっていう私たちは安心感があって、決して保育所に入れたい、幼稚園に入れたいだけじゃなくて、久代の地域の方が気軽に行けるというところすごく魅力を感じている部分でもあるんですね。そういうところを本当に民間にできるのって思ってしまうところもあります。

あと、これも毎回私話させてもらってるんですけど、公立の意味っていうのは、セーフティーネット的な障害があったりとか、貧困であったりとか、いろいろな家庭事情を持つてはる保護者の方っていうのは増えてるって聞いています。セーフティーネットの機能をここが担ってくれているわけですけど、これ潰します、民間に移管しますってなったら本当にしんどい家庭はどこでってなる。おそらく加茂に行きなさいってなるんだらうけど、いくら障がいを持っている人を受け入れてください、とかの調整をしはるっていても、本当にそういう場所が必要な人たちこそ、地域で見守って行って、地域で支え合って、地域でそういう子どもを育てていく、ひとりの親に任せない、その家庭に任せない、地域の目がその子を見守って育てていくことが必要やと思うんです。それを財政やとか、川西の未来やとか、理由はあるかもしれないですけど、もともとはここを一体化して、公立で残すという話やったんですよ、つい何年前かは。それがコロッと変わって民間にしますと言った、その納得いかないところは大きいです。いくら10年を目途に準備を進める、というところについては変わりません、ってよくいわれますけど、それ決めたんは勝手に川西市が決めたことであって、それならそれで、ちゃんとどういうふうにするのか、今のアップルの話もそうですし、ちゃんとあぶりだしてそれはこうします、をちゃんと武器として持つておいて、保護者に民間に移管します、ここは安心してくださいいね、っていつてくれたら保護者も安心できると思いますけど、今の何もわからへん状況でこんな説明会聞いてもらっても、また状況が変わった中での説明会なんですよ。今までやったら上に上がって、今度は下に下げて、コロコロ変わって、どんどん話を変えていく中でゴールラインが10年って、こんなん、これが世界の情勢って言うんやったらもうちょっと久代の情勢も分かってから民間に移管してほしいなと思

います。

(市民)

川西の財政の金額を見させてもらって、令和5年度で568億、令和6年度で633億、令和7年度が714億、で増えてるんです。今年は680億で下がってるんですけど、それだけ、こんだけ物価高なので、財政の収入が増える形になっていくんじゃないかなと思って、その中で、この久代幼稚園を潰して、私立に財政の方が厳しいと先ほどのお話を伺うんですけど、その財政の増えていく中での久代の幼稚園・保育所を私立に変えてということは、久代に対する、こどもに対する優先順位が低いのかなというふうに思ってしまう。

だから、越田市長は非常にこどもに関してはすごく前向きにご意見を聞いて、僕もあの最初の市長の時は後押しさせていただいたんですけど、でもその結果を見させていただくと、そのこどもに対しての優先順位をごっつい下げていっておられるということは、特に久代に対して。こども園の数字を見ても、川西の加茂こども園が今、230、定員。川西が130で。川西北が180で、牧の台が130で定員やっておられて、一応その4つで川西の定員はいっぱいだというふうに考えてるんですけど、久代の定員は0だったかな。だから私立に引越した上で、私立がもっと頑張っていたらいいというふうには聞くんですけど、なんかこの久代に住民として考えると、こどもに対する市長の考え方がすごく優先順位的に低くなっていくというのが僕としては腹立たしいとは思っています。

(市民)

民間になるということで、私今回4月に転園したんですけど、それまで民間だったんですね。そこは違うかったんですけど、民間によっては、キャラクターものの服がダメとか、制服代にお金がかかったりとか、それぞれやっぱりなかった分、そのこどもたちのキャラクター今まで着ていたのになぜダメなのってなったりとか、出費が増えたりとか、そういうものありますし、あとは、預ける時に37度のお熱があったら、もう預けられない感じになるんですね。37度なんてこどもって結構でるんですよ。だから最近預かれなかったり、お母さん休まないといけないし、それだと、本末転倒で。それで見学行った時にそこはダメだなと思って。

熱だけでなく、総合的にみて南保育所では、熱があっても元気で、食事をちゃんととって何もなければ預かってくれるんです。総合的に体を見てくれる先生方です。

私が前に行ってたところは下痢を1回したら預かってくれず、次の日もお休みをもらわないといけないう感じだったんです。軟便気味の子はすぐに下痢という状態になるんですけど、ぐったりしている状態ならば分かるんですけど、独自のルールというか、民間になるとそういうことが私は心配です。

(市)

ご指摘のとおり、実際の保護者の人の声というのは、課にもかかってきておまして、そのたびに、総合的にこどもの様子を見て、体調が悪いと判断をして保護者に電話をかけているのか、っていうのが。保護者の方から実際に連絡が入った時は、必ずフィードバックをして、もう少しそこを柔軟にというか、働いている保護者の方を配慮するというか、だからといって病気の子を預かってほしいとか、そういうことではなく、配慮できる部分であったり、お迎え来るまでに時間がかかると思うけれども、そこは、時間を長めに配慮できないかという指導はしております。

独自のルールがあるというのは確かなのですが、訪問などで、実際にどの段階で連絡をしているとか、そういったことも聞いたりして改善できることはするよう交渉はしています。なるべく民間の先生方も、市立の園所ではどのようにされていますかと市立の園所を参考に自分の園で考えて行きたいというご意見もよく

ありますので、できるだけ市立でやっているようなルールを発信するよう心がけています。

(市民)

地域の関わりなんですけど、私の勝手な想像なんですけど、久代幼稚園の園長先生は、自ら足を運んでお祭りに参加したりとか、学校との関わりをしたりとか、地域にどうにかして関わってほしいという思いがものすごく強いんですよ、それで私もお手伝いさせていただくこともあるんですけど、私が久代のお祭りにいったら園長先生が必ずいる、みたいな。地域に入ってきてくれる先生だからこそ、地域も助けるし、動いてくれるから繋がりができるんです。

ちょっと気を付けて預からないとといけないお子さんも、ものすごくあたたかい目で見えてくれるんです。民間園さん、頑張ってはるのも分かるんですけど、入ってきてから周りのこと何にも知らないでスタートするっていうのは私はびっくりして、なんでリサーチしてからしないのかと思ったりしたので、そういうのが私立にあるのが不安なことなんです。

(市民)

この近くにスケボーの公園ができて、それに何千万も使って、というのを見て、何で競技人口が川西市に何人いるか知らないですけど、競技人口の少ないものに何千万も使って、地域にいることに対してお金を使うのを嫌がっておられるのかなというのはずっと思ってた。スケートパークにしてもお金が足りないからとクラブファンしてて、お金を集めるためにいろいろなことをされていたけど、そういう努力をされたのかな、というふうに思ったのが1つと、今、保育所の通っている子がいないので、情報が入ってこないの、この前「おうまのおやこ」の広場に行った時に、たまたま川西市の職員の方が来られて、話をされたんですけど、その方がどういう方だったのか分からないけど、その方ですら、この話を知らなくて。市の中でも知っている職員さんってほんの少数なのかと思いました。皆さんだけで検討しておられるのかなと。こうやって保育所に入る前の子が集まっているところに顔を出される職員の方が知らなかったことに私はびっくりして、すごく閉鎖的な中で何かをされようとしているのではないかという不信感を持っています。

令和10年というのも決まっていて、それに対して進んでいて、市の他の職員が知らないスピードで何かが始まって、知らせもせずに決まってしまうのはおかしいなと。水道局の人が知らないとかだったら分かるんですけど、子育てに関係している人が知らないって、おかしくないかと思っています。少数の人達で決めてサウンディングして、それに対して検討して、お金がないから私立にしたいという少数で検討してやってるようにしかみえなくて不信感があるのでもうちょっと詳しく知れるようにしてもらいたいですし、もうちょっと内容が決まってから呼んでいただかないと、みんな時間を削ってきているので、これから検討しますばかりでは説明会に出る意味がないと思ったり、でも知らないところで何かが決まってしまう印象があるので今後もうちょっと考えて発信してもらいたいと思いました。

(市民)

先ほどスケボーの話が出たんですけど、私が要請しました。というのは、こどもさん中心なんですけど、スケボーは道路でやってはって危なかったの、要請が多かったんです。中国縦貫の下が空いてたんで、あそこをうまく利用して、こどもさんが遊べる場所。スケボーだけじゃなくて、3on3ができる場所、あそこ物置やったんですよ。そういうことでお願いしたのは私です。

(市民)

去年の9月に川西市に引っ越してきて、帰ってきたという感じです。久代幼稚園に通わせてもらっていました。こどもが5歳で久代幼稚園に行こうという話をしていたんですが、閉鎖するというので、民間園にいったら5歳児は受け入れられないということで、12月に南保育所が空いていて入れました。下の子は0歳で民間園に行っているんですけど、ある民間園を見て思ったのがこどもが元気がないんです。縛られている、すごい。

他市でも私立に通っていましたが、そこは規制が厳しくなかったんで元気だった。制服着せられて、堅苦しいと見ていて思ったんですけど、その民間園の中を見に行っただけのことですか。

(市)

その民間園には開設から行かせてもらっています。縛られているという感覚を私は受けなかったのですが、太鼓など課題をやっていることがあるので、その時には一斉感があったのですが、普段の保育の時にはなるべく先生たちがこどもの声を聞きながら保育をしているというのをみております。

(市民)

ほかにもなんですが、もともとはここを公立で建て替えをしようとしていて、それを上に行った瞬間に私立の方にしますよという話を聞いて、それがまた、下に帰ってきてここで私立にしますよという話がでてるということですか。

(市)

令和4年度からの計画になりまして、令和4年度にこども若者未来計画案の中にあげているのですが、ここでお示しした案は、久代幼稚園と南保育所を一体化してこども園とする、ただ、原則として施設の新設は行わずに既存の施設を活用する、というのが案でご意見をお聞きしました。お聞きしたご意見で、施設が老朽化しているんで、このまま施設を使い続けることはいかがかと言うようなご意見を多数いただきました。確かに非常に老朽化しているということもありましたので、保育所も幼稚園もかなり年数が経っていますので、この一体化の機会に新設して新たに整備しよう。

ただ、新設整備にあたっては、民間の力を借り、民設民営のこども園にするということで、その方針を出したのが、何度か段階を踏んでいるのですが、令和4年度末に出した計画、それから最終的に令和6年の1月に素案という形で民間委託するというのを案としてお示しをしています。最終決定をしたのが令和6年度で川西市こども・若者未来計画の案なんですけれども、ここで整備場所と運営主体についてお示しをしています。このような形で何年かかけて段階を踏んでお示しし、その都度パブリックコメントなどでご意見をお聞きして、旧久代団地跡地に令和10年度民設民営で整備をすすめる、市としての大きな方針を示したのが令和7年3月に策定した、第2期川西市こども若者未来計画です。ここでお示しました。

そこから、整備場所について、地域の皆さんから非常にたくさんのご意見をいただいて、もう一度サウンディングをして、民間さんに、整備場所が旧久代団地跡地でないと令和10年度の開設が間に合わないのか、他の可能性はないのか、民間さんに新たな場所を用意するということは考えられないのかをお聞きしようということになりまして、この3月・4月に民間さんに意見を聞いてきました。4月にかけてご意見を聞いて、方針を転換して、5月20日に市議会にご説明させていただいて本日5月29日に地域の皆様にまず第一報ということでお知らせをしているという状況です。

(市民)

それまでにみんなの不満は出ているんですね。それは解決せずにそのまま進んでいるのですか。

(市)

市長と教育長が皆さんと対話をするタウンミーティングの機会を昨年度の12月にもたせていただきました。その場で市長が直接参加者、市民、地域の皆様と意見交換をして、その時にも市長がはっきりと民営化をするという方針は変えられない、けれども、場所については今提案している久代団地にならないといけないというわけではなく、令和10年度に開設を実現するためにはそこしか考えられない、というような話をしています。

ですから、市の方針としては変えられない方針と検討する余地がある内容が両方あり、検討する余地がある部分については十分に意見をお聞きして、そこを汲み入れた形で見直して行こうという姿勢をお示しています。その中で、結果として整備場所については第一候補地を久代幼稚園跡地にするということで方針を転換したことで決まったばかりですので、なかなか具体的なことをお答えできないので皆さんが思っていた説明会と違うという声があるかもしれませんが、まずお伝えしたいということで来させていただいた次第です。

(市民)

令和10年度に民営化をするという話ですが、延期できないのかというのを皆が言っているじゃないですか。10年で企業が決まっているから延期ができないのですか。

(市)

今の段階で民間法人は決まっていません。これから公募条件などを検討して条件に基づいて公募します。そこで応募していただいた法人さんを審査して選定して、それからこの事業が本格的に進むということです。

(市民)

もしそれが10年までに決まらなければ、他の業者も入らないとなったらどうなるのですか。

(市)

今おっしゃられた、その部分の実現可能性があるかどうか追加サウンディングで意見をお聞きする流れです。

(市民)

分かりました。最後に1つだけ、意見ではないですが、もしこども園になって私立になるとしたら、若い保育士が増えると思います。私は20歳の子とか相手にする仕事をしているので、将来保育士をめざしている子もいるんですけど、こども園に勤めたくないって子が結構います。束縛があったり、厳しいからということで公立を探している子が多いので、将来的にできたとしても若い子は辞めていくという流れが多いのではないかと思います。保育できる状況ができなくなる未来がおそらく待っていると思うんです。Z世代とも言われてますけれども、うちの会社に勤める子も早い子で3時間で辞めていく人もいます。そのレベルですぐに辞めていく子もいるのでそれだけはお話させていただいておきます。

(市民)

実際私も聞かれたんですよ、新しい建物がいいですか、既存の建物がいいですか、と聞かれた時に、そら新しい方がいいでしょうと言ったんですけど、その時は、新しくなったら民間になるという話はないんですよ。新しい建物になります、民間になります、と後で聞いた時にはびっくりして、12月のタウンミーティングの時に、市長がぼそっと「新しいほうがいいってゆうたやんか」って言ったんですよ。マイクは入らなかったけど、私はそれを聞いた時にえーって思ったんですよ。アンケートの時には民間ってなってなかったんで、それを言いたかったです。

(市民)

前回も出させてもらいましたが、前回もこれに決まってる、これが前提だと言われたけど、みんなでどうしても下の方がいいということで今回持って帰ってもらって下が変わったのかな、サウンディングの成果なんかなあと思いましたがけれども、令和4年の一体化から何回もコロコロ変わっていて、民営化は絶対変えられないって市長は言っているんですよ。今日これだけ忙しい中集まって、絶対公立で残してほしいという声もいっぱいあったのに、民営化は変えられない、ってなっているんだったら、良い運営される場所を選定してもらって、その人を連れてきて話をするんだったらいいんですけど、これだけ時間をかけても難しいんならば、これだけの民営化に対して不満を持っている人がたくさんいるということを経理に持って帰ってもらいたいです。

(市)

もちろん、今日の説明会でいただいたご意見については市長、教育長に報告いたします。

今おっしゃっていただいた、民間移管の方針が変わらなくても、民間法人さんを連れてきて、対話の場を、とおっしゃられたことは私たちも非常に大切なところだと思っています。実際に民間法人が決定した時には、地域の皆さんへのつなぎであるとか、保護者の皆さん、私たちも交えて対話の場を定期的にもっていくよう考えて行く予定としています。

(市民)

こどもの気持ちになってとおっしゃってくださってますけど、人として考えてほしいし、自分が5歳児になったと思ってやってほしい。就学前の大事な時期だし、しっかり考えてほしい。

(市民)

引継ぎに入られるのはいいかもしれないですが、子どもたちは結局不安になるのではないかと。その点もどう考えてくださるかすごい思っているので次も意見聞かせてほしいです。この会に来たくても来られなかった方もおられるのでお願いします。

(市)

ありがとうございます。保護者の皆様の切実な声を私たちも真摯に受け止め、もちろん、これからも対話をぜひお願いしたいと思っています。

(市民)

4月末に保護者アンケート取りはって、1週間ほどで返事ください、ってかなり急でした。アンケートについてどうなった聞いても、集約が追いついてませんって言われたけど、普通、締め切り、集約時期、どう使

うか、到着点があってアンケートを取るなら分かるんですけど、アンケートについてどうなったのかという点がまず1つと、今後、保護者の意見も聞くということで、アンケートを取るかと思うが、今回のアンケートは紙ベースで答えるのと、デジタルで答えるのとあり、デジタルで進んでいったら選択肢3つ選べるようになっていて、「その他」を選択したら自分の意見を書けるようになっていて、3つのどれかを選んだらその他の自由記入欄にかけない状況だった。プリントなら分かるがデジタルだと気づかない作りで、誘導ちゃうかな、と思うようなアンケートに感じました。次やるなら、意見をしっかり吸い取っていただけるような形式にしてほしいのと、目的、いついつにこうしますところまで含めて、保護者に伝えてほしい。1週間は短い、最終締め切り日が日曜日になっているので紙の人は出せない。曜日感覚、日程感覚を働く保護者相手にしているので考えてやってほしい。最後にアンケートについて質問に答えてください。

(市)

アンケートの目的は、「今後民間法人を選定するにあたり、公募条件や選定条件の検討に活かすこと」と明記しておりました。まさにその検討に使うためのものです。タイミングや設問形式についてのご指摘は真摯に受け止め、今後のアンケートや他の意見聴取のやり方に反映します。結果の共有についても、保護者の皆様にはお知らせする旨記載しており、タイミングを見てしっかりお伝えしていきます。

(市民)

子どもたちにもちゃんと説明してほしいです。10年を目途にやるなら、「こうなっていくよ」とこどもらにも説明して、移り変わりを知って、納得して上がれるのかどうか、って大事やと思う。親が代弁するだけやなくて、こどもら本人にどうフォローするかを考えてほしい。

(市)

こどもの意見については、私たちの中でも議論し、現場の先生方にも相談しました。まだ何も決まっていない段階で話してしまうと、逆に不安を煽る可能性もあるため、今は控えています。今後、話が進み、一定の段階に至った時に、子どもたちにどのように説明するか、どの時点でどのような形で話すか、についても整理した上で対応したいと思います。

(市民)

最後に。これだけ影響ある話で、みんな仕事休んで集まって「公立で残してほしい」って声がたくさんあるのに、「民営化は変えられない」と言われるのは、ほんましんどいです。せめて、法人が決まったら連れてきて、定期的に対話の場を設けてください。

(市)

他にご発言はよろしいでしょうか。

よろしければ、本日はお時間も過ぎておりますので、これにて閉会とさせていただきます。皆様、貴重なご意見をありがとうございました。